

鉄道博物館の展示物が新しくなりました！

鉄道博物館では現在、展示物や体験展示などのリニューアルを随時行っておりますが、すでに展示内容が新しくなったものを、お知らせいたします。ご来館の際はぜひご見学ください！！

1. プロムナードの展示物が変わりました

3月24日(火)より、ニューシャトル鉄道博物館駅改札を出てすぐの『プロムナード』の車輪展示を更新しています。明治～昭和初期の様々な車輪や直径が2メートルもあるドイツの01形蒸気機関車の動輪など、珍しい車輪を展示しております。圧倒的な大きさのドイツの01形蒸気機関車の動輪と日本の車輪を見比べてみてください。



プロムナード車輪展示



01形蒸気機関車動輪



D50形式蒸気機関車の動輪

2. ヒストリーゾーン『オハ31形式客車』車内の見学が出来るようになりました

3月18日(水)より、『オハ31形式客車』車内の床部分や座席部分を補強し、車内に入っての見学を再開しました。国鉄の客車鋼製化第一陣として、1927年(昭和2年)に誕生した『オハ31』の木製の内装や、当時の3等客車では標準的な直角背もたれ、側面に明かり採り窓と通風孔が付いた二重屋根などの特徴的な構造を車内からじっくりご見学いただけます。また津軽鉄道で運用されていたときに設置された「だるまストーブ」も必見です。



オハ31形式客車



木製の内装



直角背もたれ



二重屋根



だるまストーブ